

令和元年12月12日

## 『第6回物流業界研究セミナー東京』を開催

(一社)日本物流団体連合会(渡邊健二会長)は、12月8日、ベルサール渋谷ファーストにおいて、会員企業43社と共同で「第6回物流業界研究セミナー東京」を開催し、大学3年生を中心とした249名の学生が参加した。

本セミナーは、企業の採用をめぐる環境が厳しさを増す昨今において、若い世代に対し、参加した物流連合会員企業各社が会社概要や事業内容の説明を行うことで、物流業の社会的重要性や先進性について、業界の理解を幅広く深められる機会を提供することを目的とし、国土交通省の後援を得て実施する催しである。

当日、参加学生は、会員企業43社が構えるブースを自由に訪問しながら各社の会社概要や事業内容の説明(1クール30分で9クールのタイムスケジュール)を受けることを通じ、陸・海・空・倉庫・フォワーダー等、多業種で構成される物流企業の役割や使命等、様々な情報を収集した。

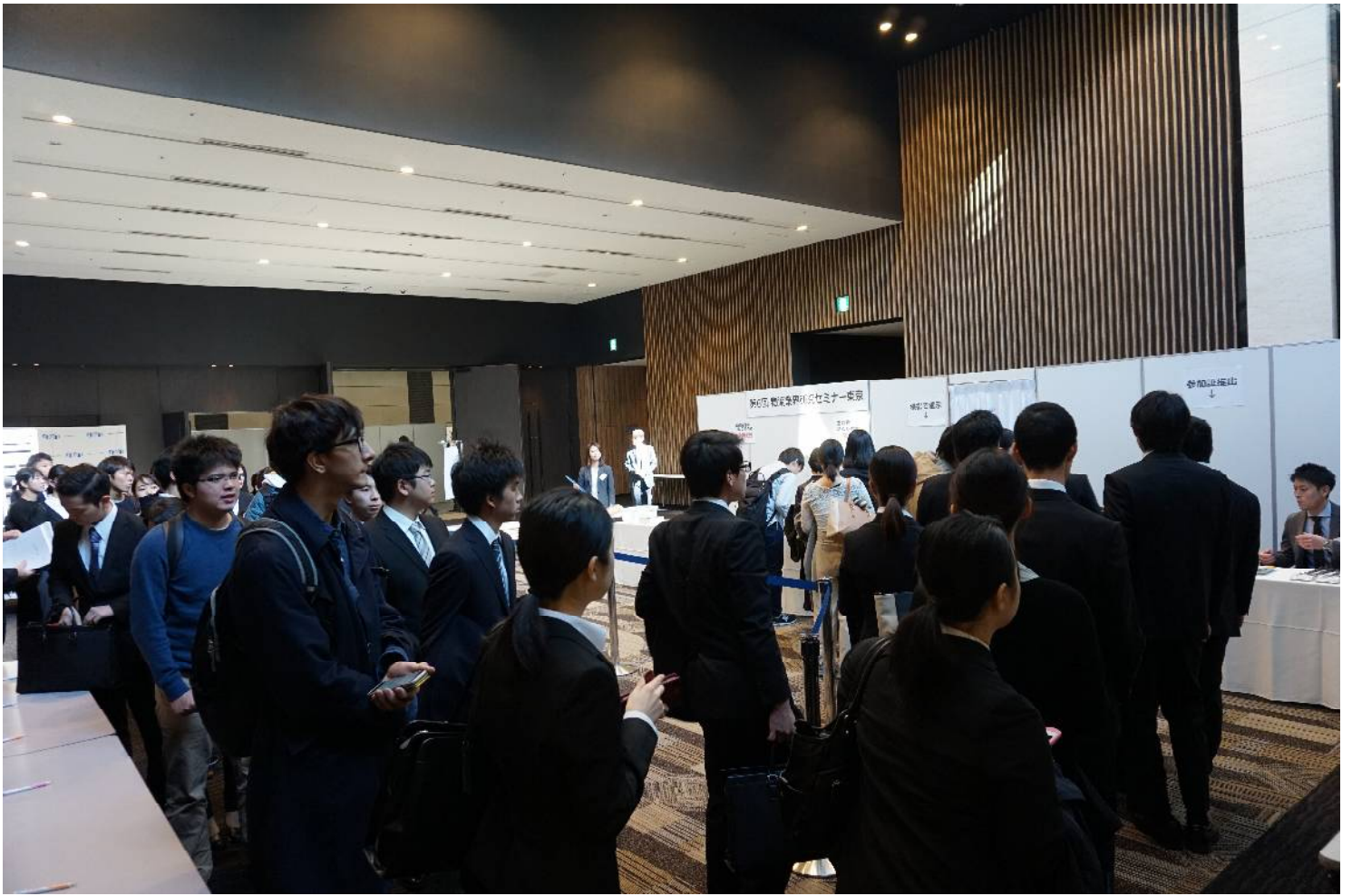
また、参加各社の説明と並行して行われた、宿谷事務局長による『物流業界の現状と求める人材像について』と題した講演会やバニラックスLLCによる『就職支援のプロによるすぐに使える就職活動ワンポイントアドバイス』等の講演会では、熱心にメモを取りながら聴講する姿が見られた。

続いてパネルディスカッションでは、会員企業の若手社員で構成された「物流いいところみつけ隊」のメンバーにより、物流業界を目指した志望動機や仕事のやりがい、経験談等が披露され、生の声を学生に伝える機会となった。また今後の就職活動対策として、同メンバーによる指導のもと参加希望学生をグループに分けたグループワークも行われた。

今後は参加学生、参加企業からのアンケートによる分析を行い、今回のセミナーに関する課題を抽出した上で、次年度以降の開催に向け、鋭意検討していく方針である。

以上

事務局：高橋



受付風景



宿谷事務局長による講演会



パネルディスカッション



グループワーク